

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (787), 課コード (0704), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (804), 課コード (0704), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project details including ①事業名, ③事業主体, ⑤事業期間, ⑦事業費, ⑧施策の位置づけ, ②目的, ③事業内容, ④達成目標, ⑦事業実施上の課題と対応.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for 必要性, 参加・協働の工夫, 環境への配慮, 目標設定, 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (809), 課コード (0704), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for comments and improvement directions.

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	816	課コード	0704	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 ■経常 □なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 公園維持管理 個別事業 公園施設維持管理	実施計画への位置づけ		●有 ○無	②部課名	都市部・公園緑地課			
	③事業主体	●市 ○その他 ()	④対象地区		□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市					
	⑤事業期間	～	⑥担当職員数		9人 (換算人数)	0.95人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 0千円	当該(開始)年度		(当初) 35,681千円 (うち人件費 8,360千円) (変更後) 千円 (うち人件費 千円)					
	⑧施策の位置づけ	施策コード 62101	重点プロジェクトへの位置づけ	重点2		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無	部門別計画への位置づけ	(計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向	公園・緑地が持つ機能に配慮し、市内に残る貴重な樹林地や城跡、古墳などの歴史的・文化的資源を活用しながら、市街地で公園が不足している一部の区域において公園の整備を検討します。また、誰もが安心して利用できるよう公園のバリアフリー化を進めるとともに、主要公園における遊具の充実を図り、子どもたち大小合わせて218箇所ある公園・緑地の施設の点検を市、及び公園の清掃管理を委託している自治会（4月末提出）などが行い、利用者が安心・安全に利用できるように、遊具施設など危険性の高いものから修繕改良工事を行い、適正な維持管理を行う。			事業目的	安全・安心な公園とするために、適正な公園管理、修繕、改良を行なう。				
(3) 事業内容	内容				当該年度執行計画	危険性を有するものは、早急に対応する。修繕・改良工事は、点検をもとに行なう。若い世代の定住化促進として複合遊具の設置を検討する。利用者の多いたけのこ広場への複合遊具の設置、利用者が安全に公園を利用できるよう船戸ときわ台公園の階段へ手摺の設置、手賀沼公園トイレの外壁塗装工事を実施する。				
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	ha	想定値	150
当該年度	安全に安心して利用できるよう維持管理を行う			間接	多くの市民が安心して利用できる施設の公園面積		ha		実績値	
平成32年度	安全に安心して利用できるよう維持管理を行う			間接	多くの市民が安心して利用できる施設の公園面積		ha		150	150
平成33年度	安全に安心して利用できるよう維持管理を行う			間接	多くの市民が安心して利用できる施設の公園面積		ha			150
(7) 事業実施上の課題と対応	昭和40年～50年代に開発・帰属された公園が多く、老朽化による修繕・工事が多いため、新規施設の設置が難しい。			代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		公園施設工事・修繕 嘱託職員(3名・25%) 複合遊具の設置検討	21,000 1,613 0	公園施設工事・修繕 嘱託職員(3名・25%) * 手賀沼公園トイレ外壁塗装工事 * 遊具設置工事(たけのこ広場) * 船戸ときわ台公園手摺設置工事 * 複合遊具の設置検討	21,000 1,588 2,600 1,291 842 0	公園施設工事・修繕 嘱託職員(3名・25%) * 遊具設置工事	21,000 1,588 2,000	公園施設工事・修繕 嘱託職員(3名・25%) * 遊具設置工事	21,000 1,588 2,000	
		予算(決算)額	合計	22,613	合計	27,321	合計	24,588	合計	24,588
		国庫支出金 補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%
県支出金 補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
起債 充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	
一般財源	22,613	一般財源	27,321	一般財源	24,588	一般財源	24,588			
その他の財源 □特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0			
換算人数(人)	0.95	換算人数(人)	0.95	換算人数(人)	0.95	換算人数(人)	0.95			
正職員人件費	8,360	正職員人件費	8,360	正職員人件費	8,360	正職員人件費	8,360			
嘱託職員報酬額	1,613	嘱託職員報酬額	1,588	嘱託職員報酬額	1,588	嘱託職員報酬額	1,588			
臨時職員賃金額	0	臨時職員賃金額	0	臨時職員賃金額	0	臨時職員賃金額	0			
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	30,973	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	35,681	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	32,948	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	32,948			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	206.49千円/ha		237.87千円/ha							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価			事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
	都市公園としての公園・緑地は生活にうおいとやすらぎを与えてくれるとともに、災害時には避難場所としての機能も有する大切な空間であるため、これらの機能を維持し、誰もが安心して利用できるよう、良好な公園・緑地管理を進めていく。			○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他			○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <市実施の具体的な内容・必要性の理由> ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>				○要 ○不要	
	●②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる ■市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他								
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容			実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)				参加・協働の程度・内容	
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし							○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>	
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点			実施した具体的な内容				環境への配慮	
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし							○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (ha)	目標値(b) (ha)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成		
	150	150	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f) (ha) 達成率(%) (f/b×100)		<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託	実績値(g) (千円) 対事業費(%) (g/c)×100		○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>			
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>				
△15.2									
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	0.42	単位 ha	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h) 対目標値(%) (h/e)×100		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>	

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									
評価	評価コメント					改善案及び展開方向			

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (817), 課コード (0704), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main body table (1. 事業の概要 (PLAN)) containing project details, objectives, content, and financial data for fiscal years 30, 31, 32, and 33.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns for evaluation items, pre/post evaluation, and improvement checks. Includes sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns for current status (e.g., 現状どおり推進) and evaluation comments.

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	1881	課コード	0704	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 □経常 □なし
-------	------	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)															
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	公園の放射能対策	実施計画への位置づけ	○有 ○無	②部課名	都市部・公園緑地課								
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市										
	⑤事業期間	平成25年度 ~		⑥担当職員数	5人 (換算人数)	0.25人									
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	2,769千円	当該(開始)年度	(当初) 2,539千円 (うち人件費 2,200千円)	(変更後) 千円 (うち人件費 千円)									
	⑧施策の位置づけ	施策コード	12201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無	部門別計画への位置づけ	(計画名)						
(2) 目的	施策目的・展開方向	良好な生活環境を維持するため、定期的な環境調査や事業所などへの監視・指導を継続して行うとともに、路上喫煙、犬の糞害に対する指導、不法投棄と野焼きに対する監視や戸別指導を実施して、公害や生活環境の悪化を防止します。また、PM2.5や放射性物質などの新たな環境問題については、国、県、近隣自治体との連携を図ります。また、PM2.5や放射性物質などの新たな環境問題については、国、県、近隣自治体との連携を図ります。			事業目的	安全・安心な公園とするため、適切な公園管理を行う									
(3) 事業内容	内容	除染については、国の放射性物質汚染対処特措法に基づく除染関係ガイドラインを踏まえ、高さ50cmの放射線量を毎時0.23マイクロシーベルト未満にすることを旨とする。さらに、本市独自の取組みとして、砂場は高さ5cmでの放射線量を毎時0.23マイクロシーベルト未満にするよう対応する。			当該年度執行計画	公園の空間放射線量を年1回測定し、毎時0.23μSv/hを超える箇所の対応を自治会等と共に対応する。									
		当該年度活動結果指標	空間放射線量を測定する公園数			単位	箇所	想定値	193	実績値					
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値						
当該年度	安全・安心に利用できる公園			直接	空間放射線量の測定		箇所	193	193						
平成32年度	安全・安心に利用できる公園			直接	空間放射線量の測定		箇所		193						
平成33年度				-					0						
(7) 事業実施上の課題と対応				代替案検討	○有 ●無										
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度							
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		*	放射線量測定業務委託(年1回)	569	*	放射線量測定業務委託(年1回)	339			*	放射線量測定業務委託(年1回)	339	*	放射線量測定業務委託(年1回)	339
		合計	569	合計	339	合計	339	合計	339						
		補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%						
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%						
県支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%							
起債	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%							
一般財源		0		0		0		0							
その他の財源	□特会 □受益 □基金 ■その他	569	□特会 □受益 □基金 ■その他	339	□特会 □受益 □基金 ■その他	339	□特会 □受益 □基金 ■その他	339							
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.25	換算人数(人)	0.25	換算人数(人)	0.25	換算人数(人)	0.25							
正職員人件費		2,200	正職員人件費	2,200	正職員人件費	2,200	正職員人件費	2,200							
嘱託職員報酬額		0	嘱託職員報酬額	0	嘱託職員報酬額	0	嘱託職員報酬額	0							
臨時職員賃金額		0	臨時職員賃金額	0	臨時職員賃金額	0	臨時職員賃金額	0							
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		2,769	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	2,539	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	2,539	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	2,539							
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	12.76千円/箇所		13.16千円/箇所												

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価			事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	安全・安心して利用できる公園とするため、放射線量を低減する必要がある			○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである(理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他			○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <市実施の具体的な内容・必要性の理由> ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>				○要 ○不要	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容			実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)				参加・協働の程度・内容	
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ●④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>			自治会との除染の連携を実施している。				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>	
環境への配慮	配慮の視点			実施した具体的な内容				環境への配慮	
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし			該当なし				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (箇所)	目標値(b) (箇所)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成		
	193	193	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f) (箇所) 達成率(%) (f/b×100)		<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
				実施予定の対策		実績値(g) (千円) 対事業費(%) (g/c)×100		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施状況				事業費の削減対策について		
	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託 <削減の内容>		2,539 230		○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
事業費削減率(%)		8.31		<超過理由等>					
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		
	7.6	単位 費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h) 対目標値(%) (h/e)×100		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									
評価	評価コメント					改善策及び展開方向			